

# 教育研修部ニューズレター

第2号 平成29年6月5日

発行元：教育研修部 鈴木宏昌 宮崎弘志

## ・平成30年4月からの新専門医制度開始が（ほぼ）決まりました！！

### 「専門医制度新整備指針」の改正内容(抜粋)

以下の4点を整備指針に明記する

- 1 専門医取得は義務ではない
- 2 地域医療や女性医師を配慮したカリキュラム制の設置
- 3 研修の中心は大学病院のみではなく、地域の中核病院等である
- 4 都道府県協議会に市町村を含め、研修プログラム承認後も地域医療確保の動向を協議会に情報提し、協議会が意見を出した際は研修プログラムを改善する

### 今後のスケジュール

(現時点での予想)

- 6月～：基本領域学会での新規プログラム募集
- 7月～：学会での評価、地域医療協議会と調整
- 8月～：機構での研修プログラム審査
- 9月～：専攻医募集開始
- 秋ごろ：専攻医選考、登録開始

平成30年4月スタート

厚生労働省「今後の医師養成の在り方と地域医療に関する検討会」の第2回会議が5月25日に開催され、左記4点の新整備指針改定についての対応方針を検討し、了承されました。

この会は、4月の第一回会議冒頭で塩崎厚労大臣が挨拶（検討会レベルでは異例）した事でもわかる通り、大臣直轄委員会の色の濃い委員会です。この委員会です承されたという事は、来年度の開始がほぼ確定したと言えるでしょう。

### ・プログラム新規募集が開始されました

専門医機構から基本18領域領域学会（内科プログラムは既に募集済み）に、新規プログラム申請を開始するよう指示がでました。（前回までのものは、更新プログラムです）6月末をめどに各領域の新規プログラムが出そろい予定です。

今後予想されるスケジュールを左欄に記載します。プログラム公表は全領域日程を合わせることになっていきますので、遅くとも9月上旬には公表されることが予想されます。採用は9-10月から行われる予定です。ただし、総合診療領域だけは未だプログラム整備指針が出されていません。

### ・募集定員の制限はされるのか

創刊号でも書きましたが、平成26年度医籍登録3-5年目の医師数の全国比が5%以上の都道府県（東京・神奈川・

愛知・大阪・福岡）で過去5年の専攻医採用実績平均を超えないように調整する、としています。神奈川県は全国2位の人口で、10万人当たりの医師数は全国平均を大きく下回るので大丈夫だろうと書きました。今回、ちょっと都合の悪い資料が上記検討会に出されました。次ページに示す「初期研修開始から10年間の30-34歳の医療施設勤務医師数の変化率」表です。上段は全体の変化率、下段は医療機関(大学病院等)の変化率です。上段の表で、神奈川県は若手医師の上昇率 No.1 です(千葉・東京・神奈川 20%以上上昇)。これを見るとある程度の制限が必要かとも見えます。人口が多いのだから当然と言う主張も成り立ちます。

